

大宮学舎本館（重要文化財）

ただそのためにはやはり多くの皆さんのご協力が必要で、特に大会実施にあたっては、10周年記念大会実行委員会（仮称）を結成してスタッフを募集するようなことになると思われます。具体的な計画ができ次第あらためてご案内いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

なお役員の多くの皆さんは、〈規約〉にありますように支部長、副支

部長、事務局のほか「幹事」という立場で会議や行事に参加していただ

去る1月24日、小倉商工会館にて定例の役員会が行われました。この時期の役員会は主に本年度の行事の確認・点検と来年度の総会等行事計画を立てることを主としています。令和6年度の総会及び懇親会は下記に詳細を掲載いたしましたのでそちらをご覧いただき、早々に日時をご予約いただければと思うところです。

また、少し気の早い話ですが、再来年度の令和8年度が結成10周年に当たることから記念事業をどのように行うかが議題にのぼり、当役員会の一人が2度の火事から復活を遂げた映画館『小倉昭和館』を通じて小倉出身のある著名人と交友があるため、その人に講演依頼をしようかという話が進んでいます。実現すれば、本当に大きな行事となり、会そのものにも大きな変革がもたらされるのではと期待されます。

ただそのためにはやはり多くの皆さんのご協力が必要で、特に大会実施にあたっては、10周年記念大会実行委員会（仮称）を結成してスタッフを募集するようなことになると思われます。具体的な計画ができ次第あらためてご案内いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

（2024年度・北豊支部総会）のお知らせ
去る1月24日の役員会にて、2024年度の総会及び懇親会を左記のように予定いたしました。詳細は5月にあらためてご案内申し上げますが、とりあえず日時をスケジュールに組み込んでいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。
【会場】小倉北区上富野『松柏園ホテル』
【日時】2024年6月14日（金）



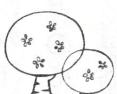
■総会／17時30分～18時

■総会記念・富永裕輔ミニコンサート／18時15分～19時

*富永裕輔－小倉南区出身のシンガーソングライター。
北九州市文化大使や築上町観光大使も務める。

■懇親会／19時～21時（終了予定）

役員会からの報告



いていますが、人数制限はなく、一人でも多くの方に参加いただき、広く意見交換をしていきたいと思っています。会員に限らず、役員も常時募集中ですので、お志のある方、興味のある方がおられましたら、ぜひ事務局・大江までご一報いただければと存じます。

主な活動内容としては、年に2、3回程度の役員会と役員懇親会（このたびも会議終了後、新年会を実施）。また、タイミングが合えば校友会本部の会議等へ、支部を代表して参加いただくこともあります（本年度は深草キャンパスで龍谷祭が開催中の11月3日に全国支部長会が開催され、私が事務局長として参加させていただきました）。

北豊の地にて龍谷大学に学んだ喜びを皆さんと共にできればと、諸問題を抱えつつも頑張っていますが、取りあえず2年後の10周年に向けて、どうぞ当会の活動に一層のご支援ご協力のほど、重ねてお願い申し上げます。〔記・大江〕

まず、このたびの北陸地震にて被災されました。また皆さまにお見舞い申し上げます。

私が龍谷大学に入学したのは1975年、昭和50年でした。それから今年で49年、半世紀が過ぎようとしています。

ちょうど山陽新幹線が博多駅まで開業した年で、小倉から京都まで3時間半座つていれば到着です。日帰りできるなと思ったことを思い出します。

何十回乗ったことでしょう。以前は食堂車があり、期間は短かったのですが定額払えば映画が鑑賞できる映画車両もありました。もちろん映画は選べませんが。

関西方面への列車旅といえば、中学生のとき開催された大阪万博に、両親とともに夜行列車で大阪まで向かったことが思い出されます。一晩向かい合わせの座席で寝たのか寝てないのかもわからないような状態で大阪につき、万博見学をしたその晩にまた、夜行列車で九州に帰りました。

『月の石』の展示がアメリカ館以外であり（どこか忘れました。悪しからず）、見に行つたのにわからずじまいに叱られたのを思い出します。ドイツ館で昼食を取つたのですが、これまた胸一杯で食べれずに叱ります。

られました。

その当時を思い返してみれば、現在の技術進歩のすごいこと。ただその反面、ノットたりをどこかに置いてきたように思えます。私が…。私だけでしょうかね！

パソコン。携帯電話（スマートフォン）。物を買うのもネットから。自動車の自動運転（まだ全自动ではありませんが）。運転手のいないバスや電車。空飛ぶ車まで言わ

校友リレーエッセイ

徒然なるままに

1979年・文学部卒

小松敏英



れている今日この頃です。空想の世界がどんどん現実になつてきている時代です。

そういうえば、カルピスの生みの親、三島海雲氏（1878～1974年。大阪・箕面の真宗寺院に生まれ、龍谷大学の前身である「西本願寺文学寮」及び「佛教大学」に学ぶ。ウイキペディアの経歴では、学歴が「龍谷大学深草学舎教職センター」となっている*編集部註）は、みんなの健康のためにカルピスを作ったと言われ、チキンラーメンを作った安藤百福氏も同じことを

言っていたことを思い出します。

いろいろなものに振り回されているのでしょうか？ついていくのに、精一杯です。

バイオリニストの吉村妃鞠さん（2011年生れ。世界的にもトップレベルの音楽専門大学であるアメリカのカーティス音楽院に10歳で合格する）。

吉村妃鞠さんはあるテレビ番組に出演した際、「コンクールはそんなに好きじゃない。コンサートは人のために演奏しているけど、コンクールは自分のために演奏するから」「バイオリンって自分のためだけに弾いているものではない。人のために音楽を届けているから、人を幸せにできる、感動を与えるようなバイオリニストになりたい」と語っていました。

吉村妃鞠さんは、コンクールは自分のために演奏するから、人のために音楽を届けているから、人を幸せにできる、感動を与えるようなバイオリニストになりたい」と語っていました。

偉大な先輩 「三島海雲」 を



あなたはご存じでしたか？

などと偉そうに見出しを付けたものの、実は私もよくわかつてなくて、2ページの小松氏の一文に疑問をもつて何者かと調べたところ、龍大の大先輩だったというわけです。

スベーリスの関係であれだけしか書けません
でしたが、もう少し知ったばかりの貯蓄をひ
けらかしてみたくてコーナーを取ってみまし
た（と言つて、インターネットで調べればわ
かることばかりなのですが…。折角でするので、
ちょっとお付き合いください）。

実は龍大で学んだ三島氏がカルピスを作る
ようになつたきつかけとしてあげられる重大
な出来事に中国行きがあります。

大陸進出が国策でもあつた時代を背景に、三島氏は大学を中退して中国に渡つていきます。その後各地を転々としますが、内モンゴルにいた折体調を崩し、瀕死の状態に陥りました。そのとき口にして回復に導いたのが

大正4年に帰国した三島氏は、前記の体験をもとに酸乳や乳酸菌による製品開発に取り組みます。幾つかの失敗を経つとも、大正8年、ついにあの「カルピス」が完成。発売と

同時に大人気を博したそうです。

ただ三島氏は事業を単なる利益追求とはせず、その理念に「國利民福」を掲げ、個人的

な財産は「三島海雲記念財団」に投
学術研究を奨励、支援してきました

また、販売から4年後の大正12年、東京は
関東大震災に見舞われますが、三島氏は私財
を投じてトラック、タンク、氷を用意し、被
災に苦しむ人たちに自社製品のカルピスを無
料配布して回るなど、その行動には一貫して
仏教の大乗精神(だいじょう)に貫かれていてます。私利私欲
に走る企業家や政治家の多い現在、まことに
誇りに思える大先輩といえるでしょう。

ほかにも「カルピス」のネーミングや「カルピスは初恋の味」のキャッチフレーズ（若い人は知らないか！？）からパッケージデザインに至るまでエピソードには事欠きませんが、表し、ここらで一杯、カルピスをどうぞ！

物故会員のお知らせ



安部善信の著書の目次

米ノ生前中のノ協力に感謝し
謹んで

「本来なら前号にて掲載のところ、編集ミスにて今号でのお知らせとなりました。悪しからず了承ください。」

▼いつものことながら、いや、いつも以上にすっかり遅れてしまいました。別に待っている人もいないし、とは思うものの気ばかり焦り、ようやくこのごとに終了です。

感局事務

▼いつものことながら、いや、いつも以上にすっかり遅れてしまいました。うものの気ばかり焦り、ようやくこの別に待っている人もいないし、とは思つたびの発行です。▼P1の役員会報告で令和8年度の10周年記念事業について述べましたが、それまで結成10年目が10周年と勘違いし、この会報13・14号でも来年、令和7年が10周年と書いてしまってお騒がせしました。いよいよ来年かと張り切つていたのですが、念には空を入れてと「周年」を辞書で調べたところ「その数だけの年を経たこと」とあり、ようやく間違いに気付いたような」とでした（「一周年」を考えるとわかりやすい）。まずはお詫び申し上げます。▼ただ、嫌なことは先送りにし、楽しみなことは早くきてほしいという思いの表れがこんなミスを招いたとも言えそうです。それだけ10周年、というよりも、今考えているその際のゲストに対する期待に強いものがあります。まだ正式に何も決まってないので公表はできず、思わずぶりなりを考えず、今年は今まで楽しくやっていきたいものです。今年の総会のゲストも非常に楽しみです。どうぞ今から日時を予定ください。総会の際にお会いできることがあります。



全国支部長会

・11月3日、深草キャンパスにて開催され、事務局長として参加してきました。『和顔館』（と言われてもようわからんが、の声が聞こえてきそう）にて活動報告や研修が行われました。右、赤松徹眞校友会会长、入澤崇学長を先頭に記念撮影です。



青島
ハルバム
深草

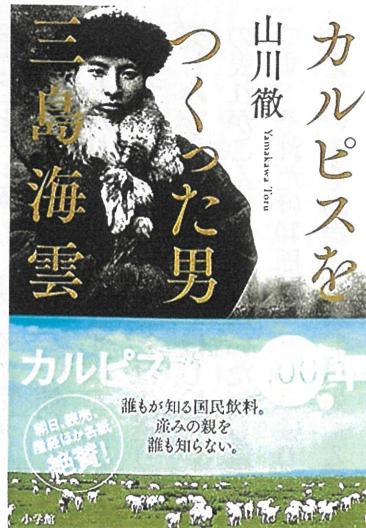


・右、研修中の様子。若年層の会員拡大についてというテーマでの分科会でした。左、「成就館」にあるカフェ（？）で研修終了後の懇親会。この後何人かで行つた深草駅前の中華料理屋が、学生時代に戻つたようで楽しかったです!!



龍谷祭 & 学術文化祭

・右と下、ちょうど全国支部長会の日に開催されていました（支部長会の方を合わせたんだろうけど）ので、写真に撮ってみました。下はいかにも、と思い撮ったのですが、これ素面でやっているんですねえ（その感想が時代遅れか!?）。



偉大な先輩
「三島海雲」をご存じですか?
・詳細は3ページをどうぞ。上、
ウィキペディアより。左、2018年
に発刊された伝記の表紙。